

釧路南ロータリークラブ会報

第26回 例会報告 2024.3.8 通算1961回

・点 鐘

長江孝文会長

・結婚 祝

前田 裕治会員 H3. 3. 10 (33年目)

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 佐藤 潤会員

・会長挨拶



皆さん、こんにちは。

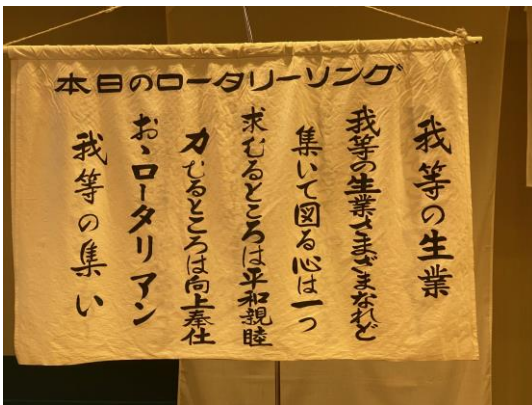
私事ではありますが3月6日~7日まで札幌出張に行っていました。

今回は取引先のクワザワの札幌への展示会に私どものお得意様30名、社員7名と大人数で視察をしてきました。今まではJRで行くことが多かったのですが今回は大型バスをチャーターして行ってきましたがバスで行くのもなかなか良いと感じました。

展示会はかなりの来場者が来ておりました。

まだ正式に発表はされておりませんが昨年を大幅に越える予想がされているようです。コロナが明けてから、今回のような展示会、また、札幌に行かれたメンバーは分かっていると思いますが札幌駅周辺、夜のすすきのも多くの人が行き来をしています。道央は再開発、新幹線、ラビダスの建設でかなり、景気が上向きなのがうかがえます。道東にも波及効果が少しでもあれば嬉しいと考えますが実際は厳しいのでは無いかと感じております。

さて、本日のプログラムは「水と衛生月間に因んで」です。ロータリーのホームページの最初にこう書か



今日の昼食

れています。安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。安全な水、衛生設備、そして、青少年教育、これもロータリーの活動の柱の一つだと考えます。

昨年は特に水についてのお話だったと思います。

今日はまた違った切り口でのお話が聞けるのでは無いかと思います。今日は環境青少年委員会の担当です。宜しくお願いします。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

・委員会報告 会員増強委員会



先日会員にお願いしておりました新入会員候補者リストの返信をお願いします。

次年度佐藤潤会長エレクト



次年度地協の参加のお願い

・幹事報告



- * 『財団室 NEWS 3月号』が届いております
- * 釧路市民活動センター様より、『わっとだより 第121号』と『わくわく講座』のご案内が届いております
- * 本日例会終了後、理事会がございます。理事者の方は、宜しくお願い致します。

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金
前田 裕治会員 結婚祝として

・本日のプログラム

「水と衛生月間に因んで」

担当 環境青少年委員会

◆奈良奉仕プロジェクト委員長

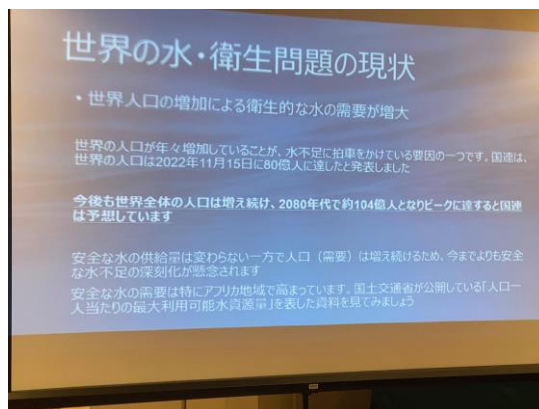


水と衛生月間に因んでということで進めていきます

今日は・世界の水、衛生問題の現状、・問題を放置するとどうなるのか、・解決のためにどのような取り組みが行われているのかの3点についてお話させていただきます。

世界では、排泄物・化学物質などに汚染されていない「安全な水」を確保できずに困っている人が多くいます。このまま問題を放置すると、途上国が貧困から抜け出しにくくなったり命を落としたりする人が増加したりする恐れがあります。国連や支援団体なども問題解決に向けて取り組んでいますが、問題の解決には至っていません。

まずは世界ではどのような水・衛生問題が発生しているのか、現状についてご紹介します。



世界の水・衛生問題の現状

世界人口の増加により衛生的な水の需要が増加しています。世界の人口が年々増加していることが、水不足に拍車をかけている要因の一つです。

国連は、世界の人口は2022年11月15日に80億人に達したと発表しました。今後も世界全体の人口は増え続け、2080年代で約104億人となりピークに達すると国連は予想しています。

安全な水の供給量は変わらない一方で人口(需要)は増え続けるため、今までよりも安全な水不足の深刻化が懸念されます。

安全な水の需要は特にアフリカ地域で高まっています。国土交通省が公開している「人口一人当たりの最大利用可能水資源量」を表した資料を見てみましょう。



世界に希望を生み出そう



気候変動による水問題の発生

地球温暖化による気候変動は、水問題にも影響を与えています。地球環境研究センターによると、温暖化の進行による影響を下記のように挙げています。

1. 河川流量が増える地域と減る地域がある
2. 干ばつを受ける地域が広がる
3. 洪水リスクが増大する
4. 極端な天候になりやすく水資源が不安定になる

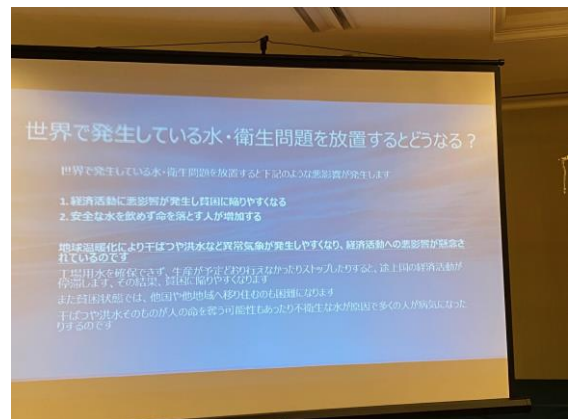
気候変動が続くと「極端に雨が降る(降らない)」「災害に遭いやすいエリアが広がる」など、不安定な天候になりやすいです。これが安全な水の確保を難しくしてしまい、安定的かつ衛生的な水の確保が難しくなるのです。

水を巡った紛争の発生

安全な水を巡って紛争に発展することがある。日本に住んでいるとイメージしにくいですが、実際には世界では水を巡った争いが発生しています。

左図のように、世界各地では水を巡って衝突が発生しています。水を巡っての争いは途上国の問題だけではありません。アメリカやマレーシア・シンガポールでも水を巡った争いが発生しています。参考:日本における水問題として次のようなリスクが考えられます

1. 水供給施設の老朽化による事故リスクが懸念される
 2. 一年を通してみたときに河川流量の変動が大きく、一時的に断水リスクがある
- 日本は水源が豊富と言われていますが、時期による変動が大きいため一時的に節水・断水が求められることもあります。また全国各地にある施設も老朽化しているものがあり、漏水や自然災害といった事故リスクも指摘されています。



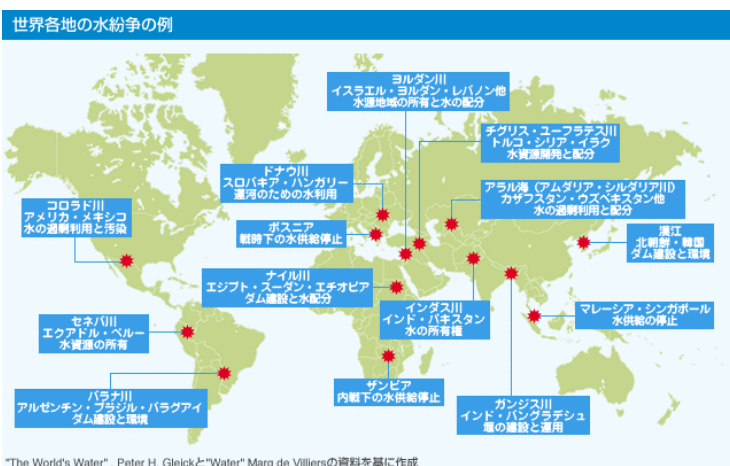
世界で発生している水・衛生問題を放置するとどうなるのでしょうか?

世界で発生している水・衛生問題を放置すると下記のような悪影響が発生しますと考えられます。

1. 経済活動に悪影響が発生し貧困に陥りやすくなる
2. 安全な水を飲めず命を落とす人が増加する

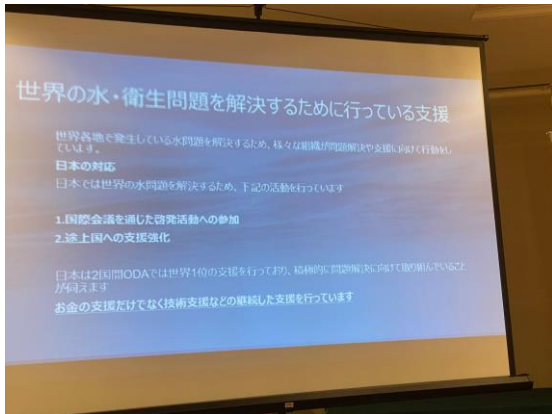
地球温暖化により干ばつや洪水など異常気象が発生しやすくなり、経済活動への悪影響が懸念されているのです。

工場用水を確保できず、生産が予定どおり行えなかったりストップしたりすると、途上国の経済活動が停滞します。その結果、貧困に陥りやすくなります。また貧困状態では、他国や他地域へ移り住むのも困難になります。



"The World's Water", Peter H. Gleickと"Water" Marq de Villiersの資料を基に作成

また干ばつや洪水そのものが人の命を奪う可能性もあつたり不衛生な水が原因で多くの人が病気になったりするのです。



世界の水・衛生問題を解決するため国連や政府、団体が行っている支援活動

世界各地で発生している水問題を解決するため、様々な組織が問題解決や支援に向けて行動をしています。

国連や日本政府、慈善団体がどのような支援活動を行っているのでしょうか？

国連の対応

国連では安全な水問題を含んだ様々な問題を解決するため、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を掲げています。SDGs は 2015 年に行われた「国連持続可能なサミット」で定められた目標です。

SDGs は 17 の目標を掲げており、水問題については SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」で指針を記載しています。

持続可能な開発目標・SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」について約 2 分の動画を見てください。

日本政府の対応

日本では世界の水問題を解決するため、下記の活動を行っています。

1. 国際会議を通じた啓発活動への参加
2. 途上国への支援強化

日本は 2 国間 ODA では世界 1 位の支援を行っており、積極的に問題解決に向けて取り組んでいることが伺えます。

お金の支援だけでなく技術支援などの継続した支援を行っています。

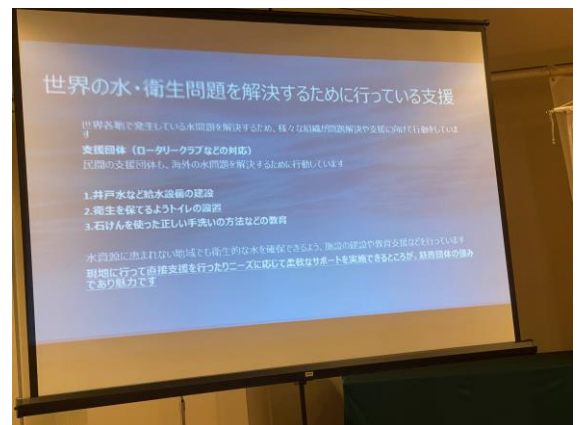
支援団体の対応

民間の支援団体も、海外の水問題を解決するために行動しています。たとえばロータリークラブなどでは、衛生的な水を確保しにくい地域に出向き、下記の活動を行っています。

1. 井戸水など給水設備の建設
 2. 衛生を保てるようトイレの設置
 3. 石けんを使った正しい手洗いの方法などの教育
- 水資源に恵まれない地域でも衛生的な水を確保できるよう、施設の建設や教育支援などを行っています。現地に行って直接支援を行ったりニーズに応じて柔軟なサポートを実施できるところが、慈善団体の強みであり魅力です。

最後にロータリーの支援活動の動画をご覧ください。

個人としての支援活動の実感はなかなかありませんが、ロータリアンの一人として財団寄付などを行うことも広い意味で支援活動につながっていると思います。



・ 次回のプログラム

3 月 1 5 日 (金)

「 会員増強例会 」

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：会員増強委員会

・ 点 鐘 長江孝文会長

今週の会報担当：木内治彦会員